科目コード	R24335	科目名	生活関連機器論（含生活環境学）				
履修区分	必修	開講期	2年後期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	渡邊　哲也						
授業の概要	社会リハビリテーションの観点から、作業療法士が在宅医療を支えるために必要な環境論と建築用語、地域生活を支える観点や介入方法、法制度などの関連事項を理解し、チーム医療の一員として寄与するための知識を学修する。また実際の住環境を評価し、フィールドワークを通して在宅での生活支援に必要な視点を身につける。						

DPとの関連		
	①慈愛ある豊かな人間性と人間を広い領域から捉える教養を身につけている	－
	②理学療法・作業療法を実践するための専門的知識・技術を身につけている	◎
	③生命の尊厳や人間尊重を基本とする高い倫理観を持ち、自律して行動できる思考力や判断力を身につけている	△
	④理学療法士・作業療法士として課題を解決しようとする情熱と創意を持っている	○
	⑤地域社会・国際社会の一員として、専門職種と協働できる専門知識、コミュニケーション能力を身につけている	△
	2025年度以降の学則適用者用のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください。	
	※DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力	

到達目標	・生活環境を理解した上で、対象者の生活を考えることができるようになる。 ・作業療法における環境の意味を充分に理解した上で、対象者への介入方法を検討することができるようになる。 ・地域リハビリテーションの専門的な観点を身につける。
履修上の注意事項	毎回の講義後に提出するノートが成績に含まれます。講義を欠席した場合は、資料を視聴しノートを提出することができますので、後日担当教員を訪れてください。

授業計画

回数	講義内容【担当教員】	事前・事後学修
1	生活環境の概念	一般的な住環境について理解しておくこと
2	基本的知識(住宅・建築関係)	教科書P204～210の各名称を、実際の住宅に照らし合わせて確認しておくこと
3	基本的知識(生活用具)	建具、廊下、トイレ、浴室などの一般的な大きさや空間の広さについて確認しておくこと
4	移動用福祉用具	教科書P287～315の様々な移動機器の分類について確認しておくこと
5	疾患・障害別にみる住環境整備	教科書70～、住環境整備を行う適応疾患について確認しておくこと
6	住環境整備の進め方	住宅改修における法整備について確認しておくこと
7	住環境整備の基本的配慮(認知症高齢者の住宅環境整備について)	PEAP日本版3の各項目を確認しておくこと
8	住環境整備の基本的配慮(高齢者の住宅環境整備について)	高齢者などへの配慮に関する評価基準の各項目を確認しておくこと

成績評価方法	期末試験50%　ノート課題30%　レポート課題20% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。

	書名・著者（出版社）	ISBNコード
教科書	OT・PTのための住環境整備論 第3版 ・ 野村 歡 他（三輪書店）	978-4-89590-731-6
参考書		

教員からのメッセージ	障がい者にとって暮らしやすい街とは何か。地域で生活するために、どんな支援やどんな問題の解決策があるか、いろいろと自分たちの身の回りの街の様子を観察することから興味を向けて、「環境」についての理解を深めていきましょう。人－環境－作業モデルにおいても、非常に重要な領域です。一緒に学びましょう。
教員との連絡方法	別途、オフィスアワーを指定します。
実務経験のある教員	